

研究課題名	Lynch 症候群における 10mm 以下の大腸腫瘍性病変の検討
研究期間	2026 年 3 月 24 日 ~ 2028 年 3 月 31 日
研究の対象	Lynch 症候群と診断された方で、2009 年 1 月～2025 年 12 月の間に広島大学病院で大腸にある 10mm 以下の腫瘍（腺腫または癌）に対して、内視鏡切除で治療を受けられた方。
研究の目的・方法	研究目的：Lynch 症候群の患者さんはそうでない方と比較して大腸癌を複数認める、大腸癌の悪性度が高いなどの特徴が知られています。内視鏡で切除した 10mm 以下の腫瘍を解析し、病変の内視鏡的所見や病理組織検査での所見を検討し、Lynch 症候群の方の大腸腫瘍にどのような特徴があるか明らかにすることが目的です。 研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータと病理組織の結果から、該当する大腸腫瘍の特徴を検討します。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、カルテ番号（施設内照会のみ）、病歴、併存疾患、内視鏡所見、病理結果等。 試料：病理組織のブロック検体 試料・情報の管理責任者：広島大学大学院医系科学研究科 消化器内科学 教授 岡 志郎
利用または提供を開始する予定日	2026 年 3 月 24 日（実施許可日以降）
個人情報の保護	得られた試料・情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。
外部への試料・情報の提供	ありません。
研究組織	研究責任者 大学院医系科学研究科 消化器内科学 教授 岡 志郎 研究機関の長 広島大学理事 田中純子 研究分担者 病院 消化器内科 准教授 卜部 祐司 大学院医系科学研究科 消化器内科学 大学院生 迫 友紀子
その他	本研究で用いる試料・情報について、Lynch 症候群の症例は単施設では症例が少ないため、将来的に多施設での研究に可能性があります。その場合は、改めて倫理審査委員会での承認及び研究機関の長の許可を得た上で使用します。将来、別の研究に使用する場合は、本学のホームページ（ https://med.ethics-system.hiroshima-u.ac.jp/rinri/publish.aspx ）へ掲載し、拒否の機会を保障し

	ます。
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としないので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>広島大学病院 消化器内科 診療准教授 担当者：卜部 祐司 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5193</p>